

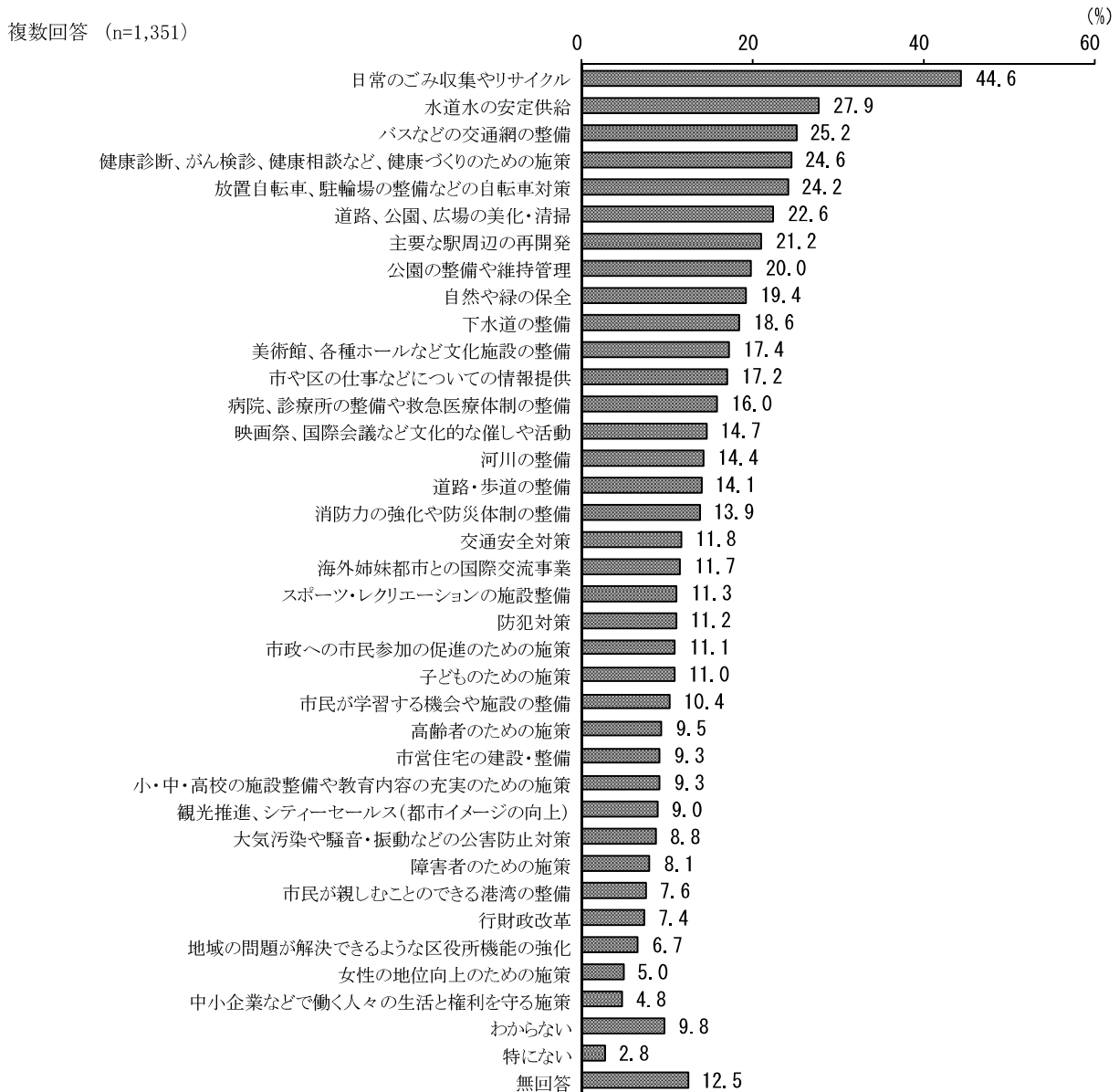
4 市政に対する評価と要望について

4-1 市政の仕事でよくやっていると思うこと

◎「日常のごみ収集やリサイクル」が44.6%

問9 市政について総合的にうかがいます。あなたは、次にあげる仕事の中で、(1)よくやっていると思われるものはどれですか。(〇はいくつでも)

図表4-1 市政の仕事でよくやっていると思うこと



市政の仕事でよくやっていると思うことは、「日常のごみ収集やリサイクル」(44.6%)が最も高く、次いで「水道水の安定供給」(27.9%)、「バスなどの交通網の整備」(25.2%)、「健康診断、がん検診、健康相談など、健康づくりのための施策」(24.6%)の順となっている。

図表4-2 市政の仕事でよくやっていると思うこと（経年比較）

(%)

	平成28年度 (n=1,351)	平成23年度 (n=1,500)	平成18年度 (n=1,270)
日常のごみ収集やリサイクル	44.6	51.3	54.2
水道水の安定供給	27.9	28.5	33.2
バスなどの交通網の整備	25.2	25.1	23.1
健康診断、がん検診、健康相談など、健康づくりのための施策	24.6	25.1	24.2
放置自転車、駐輪場の整備などの自転車対策	24.2	22.6	22.7
道路、公園、広場の美化・清掃	22.6	24.3	22.7
主要な駅周辺の再開発	21.2	23.9	30.5
公園の整備や維持管理	20.0	22.7	20.9
自然や緑の保全	19.4	18.9	19.3
下水道の整備	18.6	20.3	31.7
美術館、各種ホールなど文化施設の整備	17.4	22.3	23.2
市や区の仕事などについての情報提供	17.2	17.5	14.0
病院、診療所の整備や救急医療体制の整備	16.0	14.3	16.6
映画祭、国際会議など文化的な催しや活動	14.7	15.7	17.9
河川の整備	14.4	15.1	18.2
道路・歩道の整備	14.1	14.6	18.2
消防力の強化や防災体制の整備	13.9	15.9	19.8
交通安全対策	11.8	13.4	13.7
海外姉妹都市との国際交流事業	11.7	12.1	13.9
スポーツ・レクリエーションの施設整備	11.3	13.1	17.2
防犯対策	11.2	12.9	10.7
市政への市民参加の促進のための施策	11.1	11.8	10.7
子どものための施策	11.0	10.7	17.3
市民が学習する機会や施設の整備	10.4	10.2	15.5
高齢者のための施策	9.5	9.6	15.0
市営住宅の建設・整備	9.3	10.7	17.9
小・中・高校の施設整備や教育内容の充実のための施策	9.3	9.2	12.0
観光推進、シティーセールス（都市イメージの向上）	9.0	11.6	※
大気汚染や騒音・振動などの公害防止対策	8.8	9.5	9.7
障害者のための施策	8.1	8.7	11.1
市民が親しむことのできる港湾の整備	7.6	9.5	12.0
行財政改革	7.4	7.4	※
地域の問題が解決できるような区役所機能の強化	6.7	7.0	5.9
女性の地位向上のための施策	5.0	6.7	9.0
中小企業などで働く人々の生活と権利を守る施策	4.8	5.4	6.5
わからない	9.8	7.7	3.9
特になし	2.8	2.6	1.3
無回答	12.5	12.3	13.7

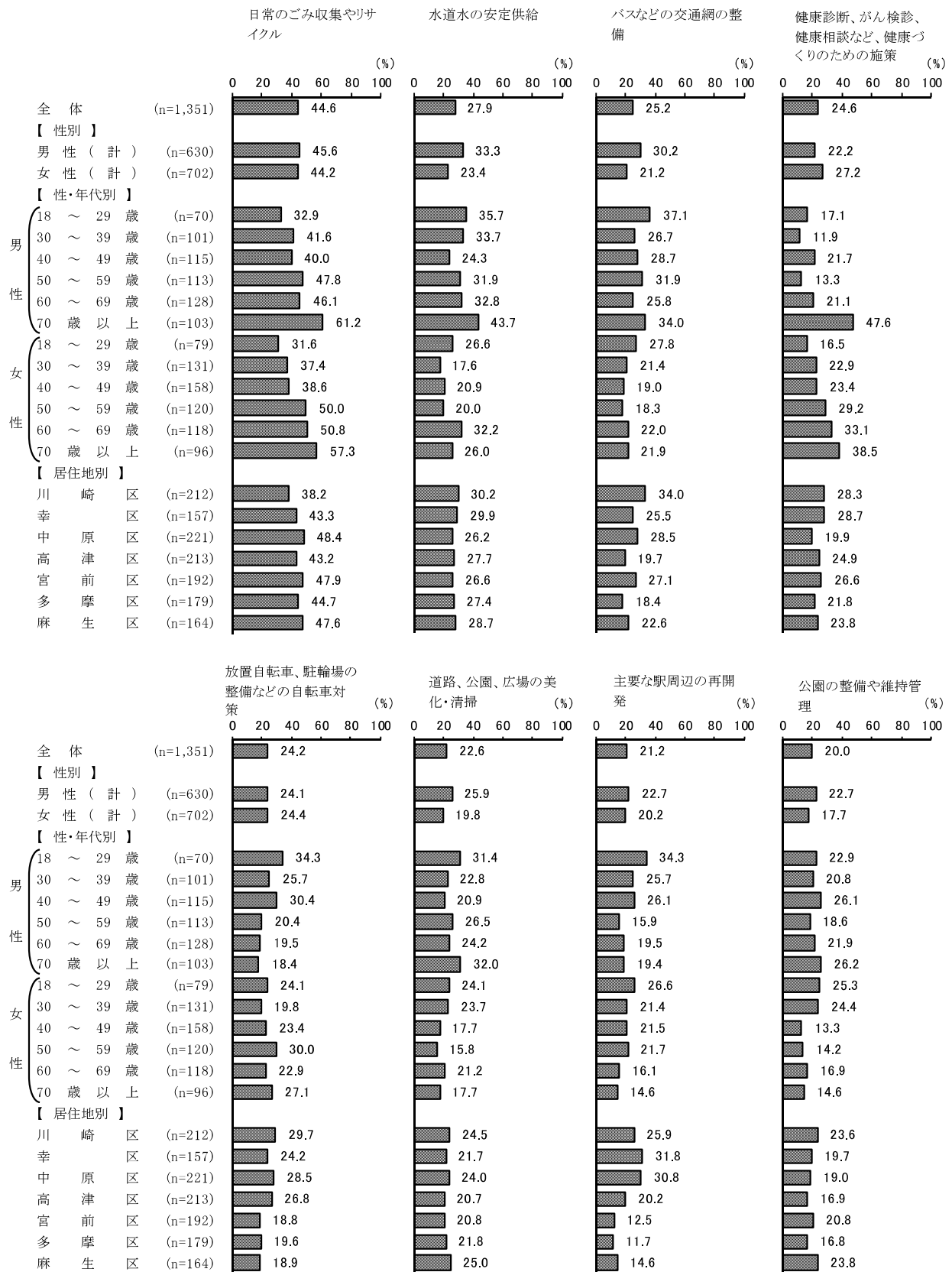
※平成18年度の「水道水の安定供給」は、「飲料水の安定供給」で実施

※平成18年度は、「観光推進、シティーセールス（都市イメージの向上）」、「行財政改革」の選択肢なし

経年比較では、「日常のごみ収集やリサイクル」は、5年前（平成23年度）と比較して6.7ポイント、10年前（平成18年度）と比較して9.6ポイント減少しているものの、10年間一貫して最も高い。「美術館、各種ホールなど文化施設の整備」は、5年前（平成23年度）と比較して4.9ポイント、10年前（平成18年度）と比較して5.8ポイント減少している。

(第2回アンケート)

図表4-3 市政の仕事でよくやっていると思うこと(性/年齢別・居住区別、上位8項目)



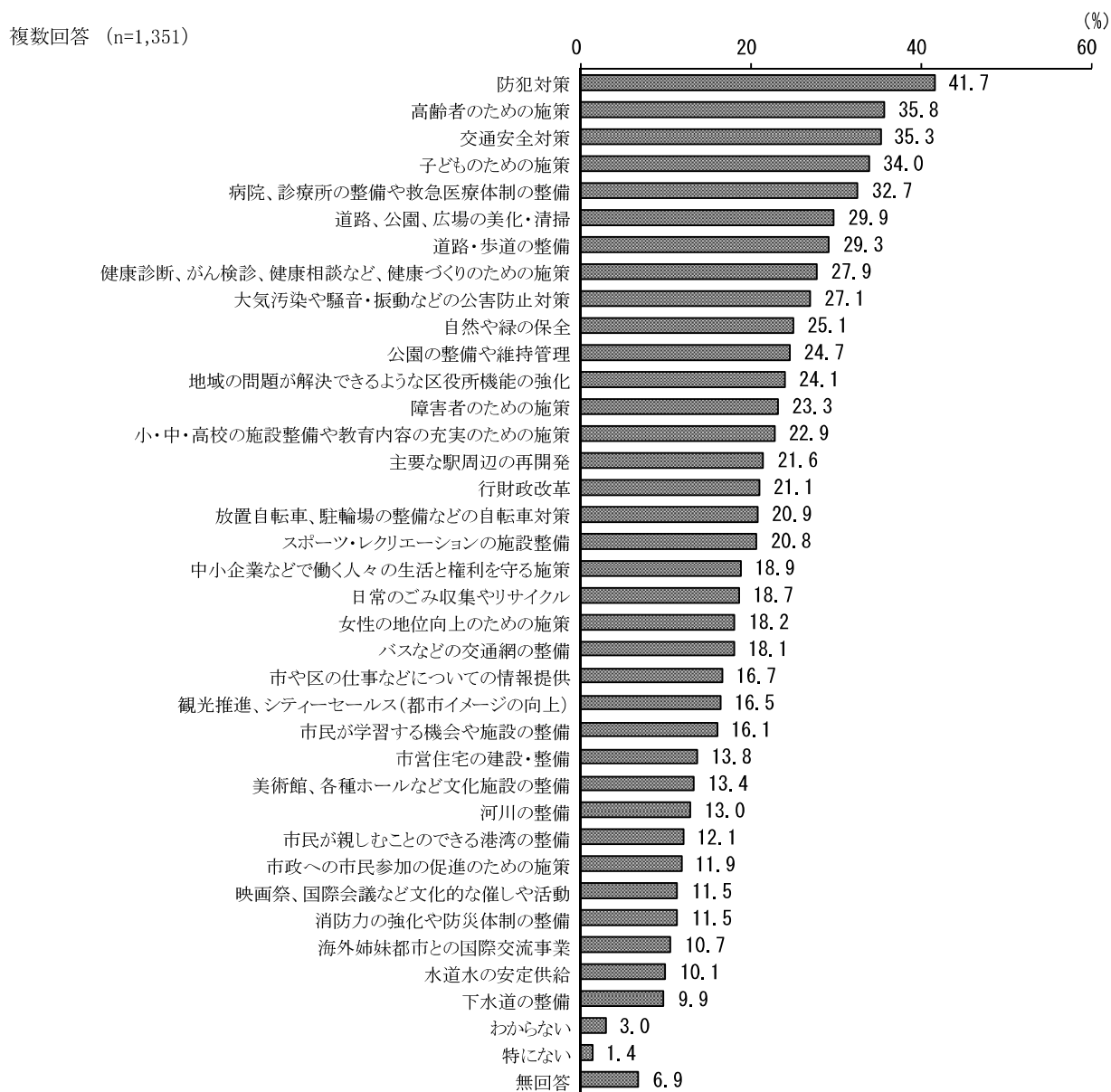
性/年齢別では、「日常のごみ収集やリサイクル」、「健康診断、がん検診、健康相談など、健康づくりのための施策」は、男女ともに70歳以上で最も高い。「水道水の安定供給」は、男性の70歳以上(43.7%)で高い。「バスなどの交通網の整備」は、男性、特に18～29歳(37.1%)と70歳以上(34.0%)で高い。

4-2 市政の仕事で今後特に力を入れてほしいこと

◎「防犯対策」が41.7%、「高齢者のための施策」が35.8%

問9 市政について総合的にうかがいます。あなたは、次にあげる仕事の中で、(2) 今後特に力を入れてほしいとお考えのものはどれですか。(〇はいくつでも)

図表4-4 市政の仕事で今後特に力を入れてほしいこと



市政の仕事で今後特に力を入れてほしいことは、「防犯対策」(41.7%)が最も高く、次いで「高齢者のための施策」(35.8%)、「交通安全対策」(35.3%)、「子どものための施策」(34.0%)の順となっている。

(第2回アンケート)

図表4-5 市政の仕事で今後特に力を入れてほしいこと（経年比較）

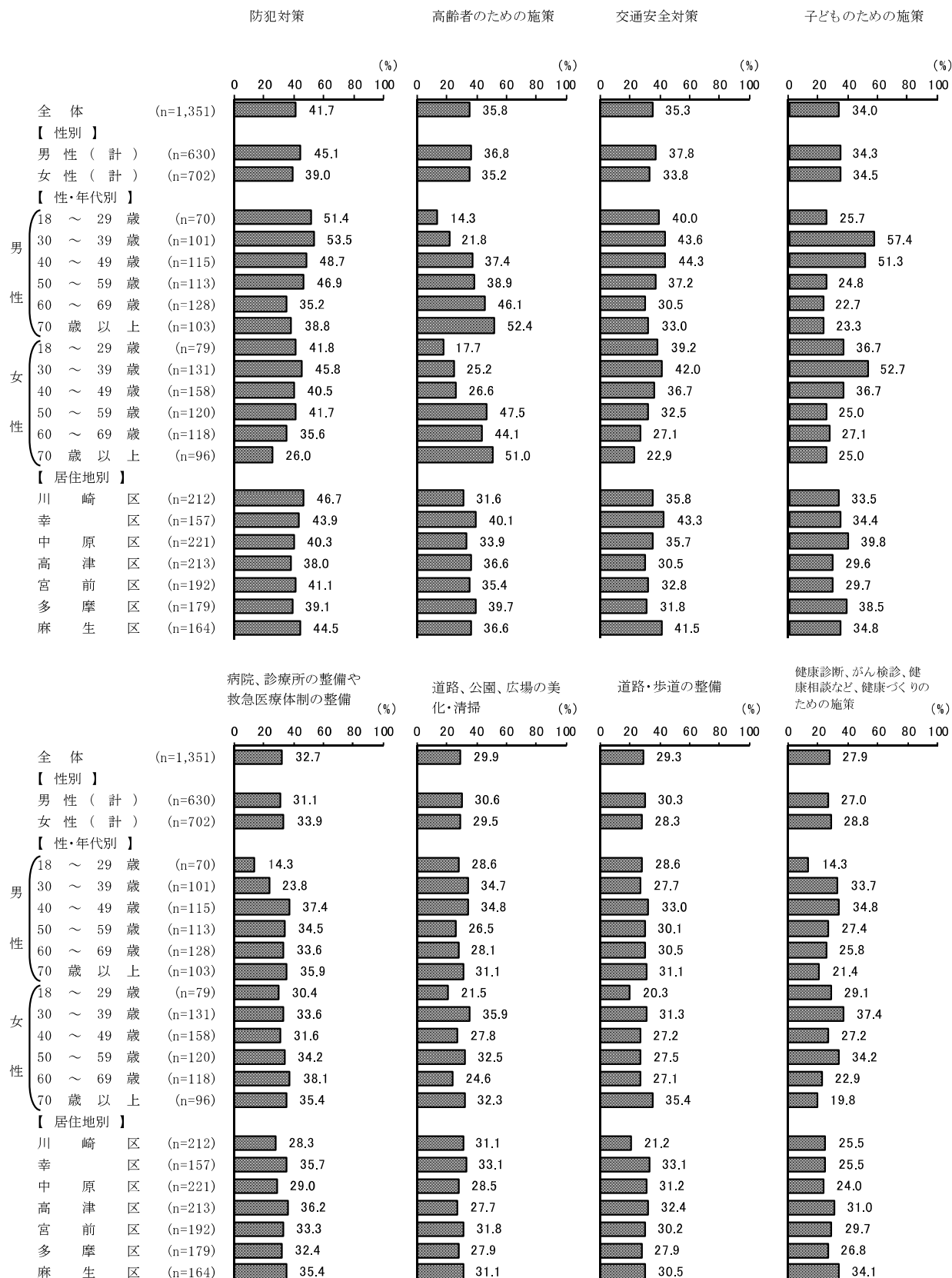
	(%)		
	平成28年度 (n=1, 351)	平成23年度 (n=1, 500)	平成18年度 (n=1, 270)
防犯対策	41.7	43.9	53.3
高齢者のための施策	35.8	38.5	52.9
交通安全対策	35.3	37.2	38.4
子どものための施策	34.0	35.4	38.0
病院、診療所の整備や救急医療体制の整備	32.7	42.1	51.9
道路、公園、広場の美化・清掃	29.9	32.7	39.0
道路・歩道の整備	29.3	34.3	37.3
健康診断、がん検診、健康相談など、健康づくりのための施策	27.9	29.8	40.0
大気汚染や騒音・振動などの公害防止対策	27.1	33.3	41.7
自然や緑の保全	25.1	33.1	40.6
公園の整備や維持管理	24.7	27.7	31.7
地域の問題が解決できるような区役所機能の強化	24.1	31.3	35.3
障害者のための施策	23.3	26.9	39.0
小・中・高校の施設整備や教育内容の充実のための施策	22.9	25.9	33.4
主要な駅周辺の再開発	21.6	21.6	23.6
行財政改革	21.1	30.5	※
放置自転車、駐輪場の整備などの自転車対策	20.9	36.0	39.8
スポーツ・レクリエーションの施設整備	20.8	21.5	29.6
中小企業などで働く人々の生活と権利を守る施策	18.9	22.4	28.4
日常のごみ収集やリサイクル	18.7	18.3	25.1
女性の地位向上のための施策	18.2	17.1	21.7
バスなどの交通網の整備	18.1	21.4	27.6
市や区の仕事などについての情報提供	16.7	19.8	23.1
観光推進、シティーセールス（都市イメージの向上）	16.5	18.1	※
市民が学習する機会や施設の整備	16.1	18.5	27.3
市営住宅の建設・整備	13.8	16.9	17.2
美術館、各種ホールなど文化施設の整備	13.4	14.5	16.2
河川の整備	13.0	17.3	26.4
市民が親しむことのできる港湾の整備	12.1	14.0	18.3
市政への市民参加の促進のための施策	11.9	15.5	19.8
映画祭、国際会議など文化的な催しや活動	11.5	14.0	14.3
消防力の強化や防災体制の整備	11.5	16.0	26.2
海外姉妹都市との国際交流事業	10.7	9.9	11.4
水道水の安定供給	10.1	16.3	18.5
下水道の整備	9.9	12.5	11.7
わからない	3.0	2.1	0.3
特になし	1.4	1.3	1.2
無回答	6.9	6.4	6.3

※平成18年度の「水道水の安定供給」は、「飲料水の安定供給」で実施

※平成18年度は、「観光推進、シティーセールス（都市イメージの向上）」、「行財政改革」の選択肢なし

経年比較では、全体として減少傾向が見られるが、5年前（平成23年度）と比較して、特に「病院、診療所の整備や救急医療体制の整備」で9.4ポイント、「自然や緑の保全」で8.0ポイント、「行財政改革」で9.4ポイント、「放置自転車、駐輪場の整備などの自転車対策」で15.1ポイント減少している。

図表4-6 市政の仕事で今後特に力を入れてほしいこと（性／年齢別・居住区別、上位8項目）



性／年齢別では、「防犯対策」は、男女共に 30～39 歳、18～29 歳の順で高い。「高齢者のための施策」は、男女共に 70 歳以上で最も高く、「子どものための施策」は、男女共に 30～39 歳で最も高い。

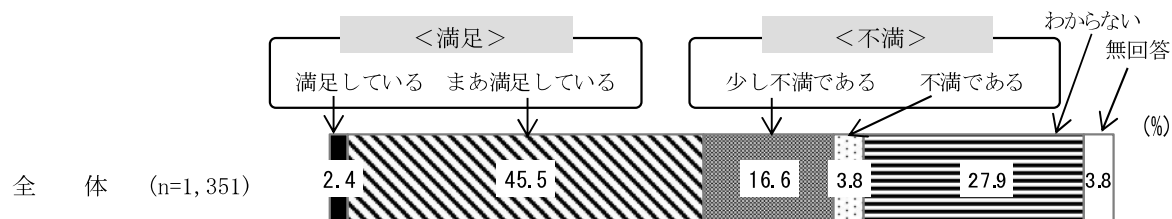
居住区別では、「交通安全対策」は幸区（43.3%）で、「子どものための施策」は中原区（39.8%）で、それぞれ高い。

4－3 施策や事業の総合的な満足度

◎＜満足＞が47.9%

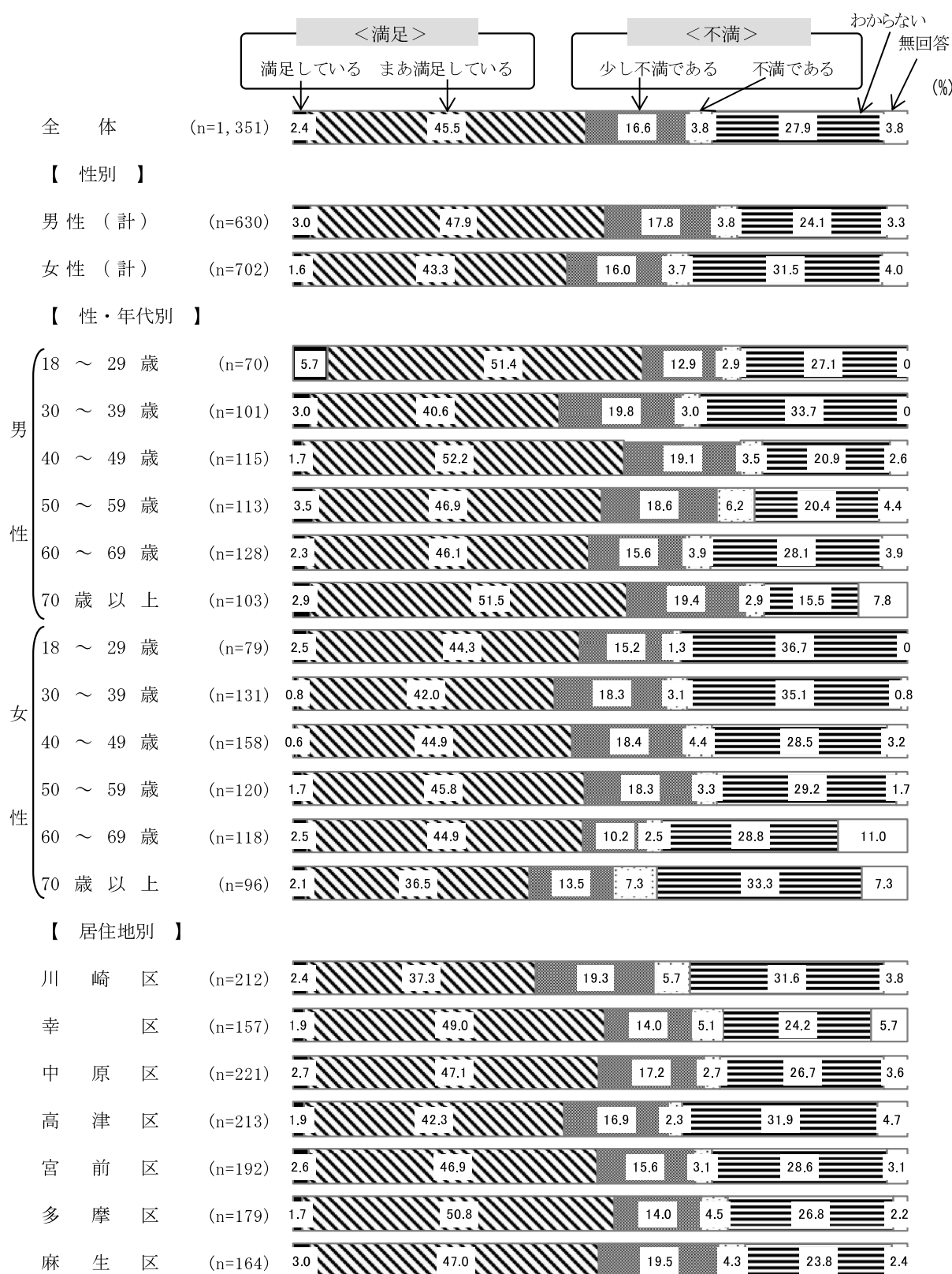
問10 あなたは、川崎市が進めている施策や事業を総合的に見た場合、どの程度満足していますか。
(○は1つ)

図表4－7 施策や事業の総合的な満足度



施策や事業の総合的な満足度は、「満足している」(2.4%)と「まあ満足している」(45.5%)を合わせた＜満足＞が47.9%となっている。一方、「少し不満である」(16.6%)と「不満である」(3.8%)を合わせた＜不満＞は20.4%となっている。

図表4-8 施策や事業の総合的な満足度（性／年齢別・居住区別）



性／年齢別では、＜満足＞は男性の18～29歳（57.1%）、70歳以上（54.4%）の順で高い。一方、＜不満＞は、男性の50～59歳（24.8%）、男性の30～39歳及び女性の40～49歳（共に22.8%）の順で高い。

居住区別では、＜満足＞は、多摩区（52.5%）、幸区（51.0%）麻生区（50.0%）の順で高い。一方、＜不満＞は、川崎区（25.0%）、麻生区（23.8%）の順で高い。